

チェックリスト

投函する前に、投稿原稿が以下の事項に適合しているかどうか確認（内にチェック）し、このチェックリストも原稿といっしょに提出してください。

本文

原稿の本文に、著者名や著者の所属を書かない。〔著者名を伏して査読するために〕

本文中に、「拙著によると・・・」「筆者は以前・・・について論じた（田中 2002）」など、著者が直ちにわかるような表記はしない。（たとえば、「田中は以前・・・について論じた（田中 2002）」のように書く。）〔著者名を伏して査読するために〕

引用文献や注が、執筆要領にある〔1〕または〔2〕の形式に一貫して従って示されており、脚注は用いていない。

文献

文献の表記が、以下の形式になっている（"_" は半角のスペース）。

(1) 和文の論文

著者名_年: 「論文名」『雑誌名』巻(号),_始頁-終頁.

(2) 和文の図書

著者名_年: 『書名』出版社.

(3) 和文の図書（邦訳書）

著者名_年: 訳者訳『邦訳書名』出版社;_原著者名(注2)_原書書名,_原書出版社,_原書出版年.

(4) 欧文の論文

著者名_年: "論文タイトル,"_雑誌名,_巻(号),_始頁-終頁.

(5) 欧文の図書

著者名_年: 書名,_出版社;_邦訳者訳『邦訳書名』出版社,_年.

執筆のときに邦訳書を用いた（本文中で邦訳書のページをあげている）ときは、上記(3)の形式で文献を挙げる。執筆のときに原書を用いた（本文中で原書のページをあげている）ときは、上記(5)の形式で文献を挙げる。（邦訳書がないときは、邦訳者訳『邦訳書名』出版社,_年を挙げなくてよい。）

終頁の数値のうち、始頁の数値と同じ上位の桁は、それを省略する。

例 1: × 723-728

723-8

例 2: × 723-741

723-41

著者が複数の時は、次のように書く。

和文の場合: 丸山剛司,_井村裕夫

欧文の場合: Beck,_U.,_Weinberg,_A._and_Wynne,_B.

著者名（原著者名）を欧文で記すときは、"Last name, first name のイニシャル" とする。

ただし、"Last name, first name のイニシャル" がまったく同じ著者が複数登場して混乱す

るときは ,first name をフルに書く(それでも区別がつかないときは ,middle name も書く)。欧文雑誌などの文献を示すときは、他分野の研究者でも容易にその文献がわかるように、分野固有の略記は避ける。(たとえば、*H.S.P.B.S.* ではなく、*Historical Studies in the Physical and Biological Sciences* と表記する。)ただし、あまりにも煩雑になるようであれば、初出箇所ではフルに表記し、2 回目以降は略記を用いてもよい。

和文の論文においては、*Ibid.*や *op. cit.* などの表記は用いないで、同上(あるいは同上書、同上論文)、前掲(あるいは前掲書、前掲論文)などとする。

本誌(『科学技術社会論研究』)に掲載された論文を挙げるときは、単に "本誌 第 1 号"などとせず、『科学技術社会論研究』第 1 号 のように表記する。

表紙

和文表題、英文表題、英語キーワード、英文抄録を記した表紙を、本文の前に付す。

表紙にも、著者名や著者の所属は記載しない。

投稿の種類が、総説、原著、短報の場合は、200 語以内の英文抄録と 5 個以内の英語キーワードをつける。

一つのキーワードは、概ね 3 語以内にとどめ、各キーワードの最初のみ大文字にする(たとえば *Developing countries*)。

投稿票

執筆者全員の氏名・所属・職名・連絡先が、和文と英文の両方が記入してある。(執筆者名のローマ字表記は、姓名、名姓、どちらの順でもよい。ただし複数の執筆者がいるときは全員について同じ順にする。)

フロッピー

フロッピーには、ワープロで作成した電子ファイルをテキスト形式に変換したものを収録する。(たとえばマイクロソフト社のワードを使用したときは、ファイルの種類を「テキストのみ (*.txt)」にして保存する。)

マッキントッシュを使用している場合は、「ウィンドウズ用にフォーマット済」として市販されているフロッピー(もしくはウィンドウズのコンピュータでフォーマットしたフロッピー)を使う。

ワードや一太郎などのワープロで作成したときは、念のため、そのファイル(テキスト形式に変換する前のファイル)もフロッピーに収録しておく。

投函の前に

原稿(オリジナルのほかにコピー3部(計4部);表紙も4部)と、投稿票1部、このチェックリスト1部、フロッピーディスク1枚を、書留便で事務局宛に送付する。

封筒に、「投稿原稿在中」と朱書する。

投稿原稿(図表などを含む)およびフロッピーディスク(電子ファイル)の控えを手元に保管しておく。